

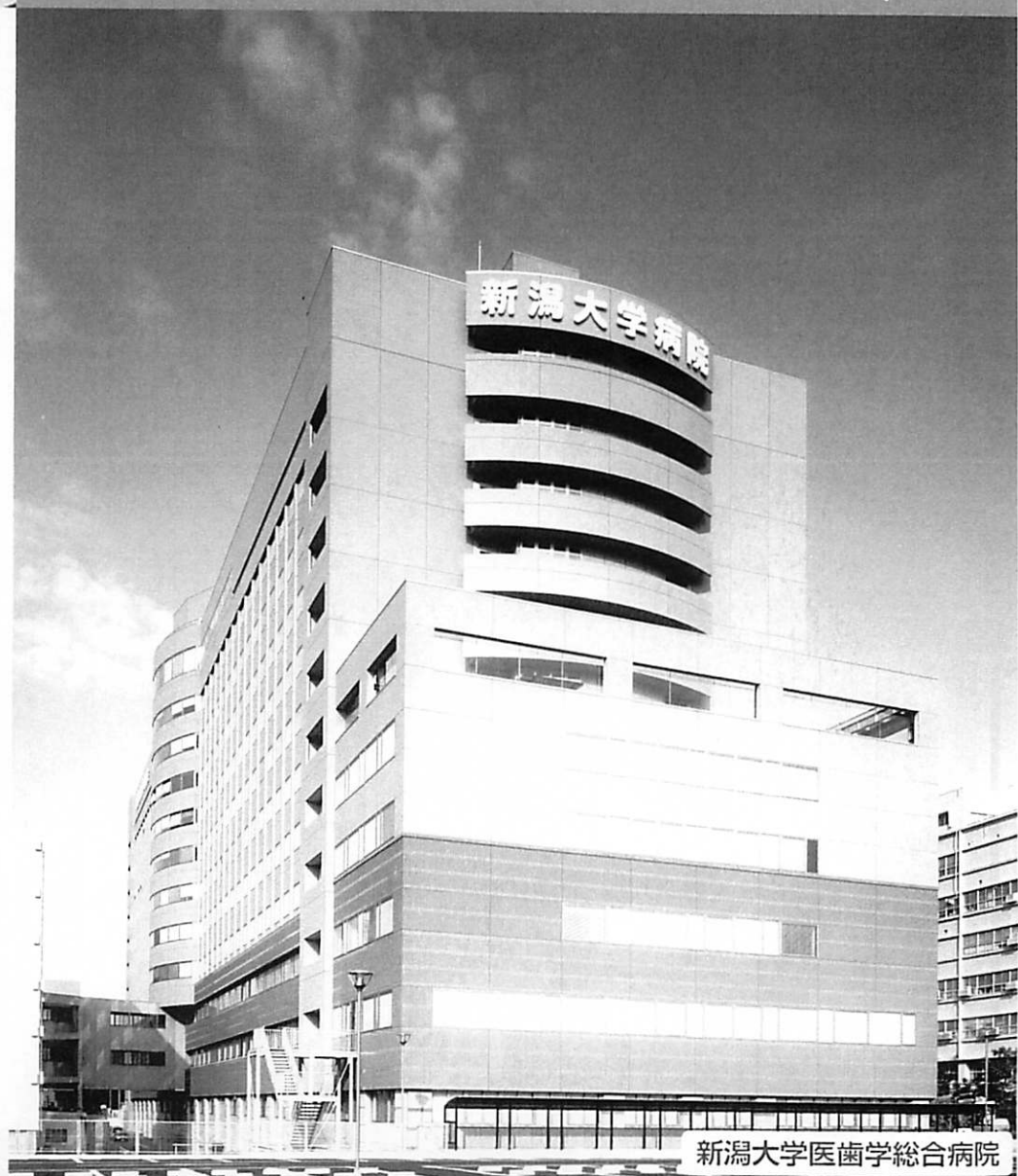
平成23年度第二版



育てる“人”がいる 学べる“環境”がある

新潟大学臨床研修病院群 研修プログラム

Niigata University Medical & Dental Hospital



新潟大学医歯学総合病院

「新潟大学臨床研修病院群研修プログラム」の特徴



新潟大学臨床研修病院群研修プログラムの最大の特徴は、平成16年度からの卒後臨床研修必修化にあたり、当時の学生の意見を積極的に取り入れ、研修医の多様な要望に応えられるプログラムを作成したことです。その後も研修医や学生、指導医の意見をもとに改定を加え、平成20年度からは、内科重点コース（研修プログラムA）、外科系重点コース（研修プログラムB）及び専門重点コース（研修プログラムC）の3つのプログラムを提供してきました。さらに平成22年度からは、国による臨床研修制度の見直しを受けて、それぞれを改定するとともに、選択重点コース（研修プログラムD）、産婦人科重点コース（研修プログラムE）と小児科重点コース（研修プログラムF）を加えた6つのプログラムで募集を行っています。

いずれの研修プログラムも基本的な考え方として、第一に、大学病院と関連施設での研修により、プライマリ・ケアを重視した多くの症例の経験、多彩な技能の修得とともに、多くの指導医のもとでの問題対応能力、プレゼンテーション能力を修得すること。第二に、大学病院と関連施設のローテーションは、複数のパターンから各自の希望により決定すること。第三に、大学病院以外の関連施設は、多くの協力型臨床研修病院の中から研修医の希望に沿って決定すること。第四に、研修医仲間としての意識作りと基本的態度・技能の修得のために、全員が大学病院で研修を開始すること。第五に、これまでの研修医による地域医療研修の高い評価をもとに、地域医療研修をより充実させること。第六に、将来のキャリア形成を見据えた卒後臨床研修修了後の専門研修に向けて、自由選択科目の研修期間を確保すること、というものです。6つのプログラムは皆さんの多様な希望に応えることができますと思いますが、各プログラム（コース）の詳細は、本冊子の5ページ以降をご覧くださいと思います。

研修を円滑に行っていたくために、大学病院東病棟2階の非常にアクセスのよい場所に、各自の机にインターネット端末を備えた研修医だけの広い研修医室が整備され、その隣にロッカー室と総合臨床研修センターが設置されています。大学病院では研修医や若い医師の意見をもとに、いわゆる雑用を軽減するための様々な業務の見直しが行われ、研修医の皆さんには研修に専念してもらうこととしました。平成21年10月から高次救命災害治療センターが開設され、さらに救急患者数の増加、救急研修の充実が想定されています。また、よりプライマリ・ケアを重視した救急研修を希望する方のために、協力型臨床研修病院での救急研修も選択可能としました。さらに、大学病院では、毎週水曜日の昼休みに、軽食を食べながらの各診療科による救急に特化したランチョンカンファレンスが開催されています。一方、研修医は出身大学に関わらず、全員が大学病院で研修を開始し、実習を重視したオリエンテーションを行うことで、研修医仲間としての意識を持ちながら、スムーズに研修をスタートすることができます。

本プログラムでの研修を希望する皆さんは、6つの研修プログラムの選択・マッチング登録とともに、大学病院と関連施設の研修ローテーションパターン、選択必修科目、協力型臨床研修病院（研修開始前に各自の希望により決定）、地域医療研修病院（研修開始後に各自の希望により決定）及び自由選択科目（研修プログラムAとBでは研修開始後に各自の希望により決定）を自分で選択し、皆さんのニーズに合ったオーダーメイドの研修プログラムで研修を行うことが可能です。

卒後臨床研修についてのご不明な点は、総合臨床研修センターまで気軽にお問い合わせいただければと思います。多くの皆さんが、希望する新潟大学臨床研修病院群研修プログラムで、積極的に研修されることを希望します。

総合臨床研修センター部長 鈴木 栄一